

連絡先	自動車局審査・リコール課 リコール監理室
TEL	03-5253-8111 内線 42354
アドレス	: <a href="http://www.mlit.go.jp">http://www.mlit.go.jp</a>

## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成 25 年 4 月 23 日

リコール届出番号	3149	リコール開始日	平成 25 年 4 月 23 日
届出者の氏名又は名称	三菱自動車工業株式会社 取締役社長 益子 修 問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-324-860		
不具合の部位(部品名)	①原動機 (フロントパワードライブユニット、リヤモーターコントロールユニット) ②発電機(ジェネレータ) ③原動機(駆動用フロントモータ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①フロントモーターを制御するフロントパワードライブユニット(FPDU)及びリヤモーターを制御するリヤモーターコントロールユニット(RMCU)の制御プログラムが不適切なため、車両起動時にFPDU及びRMCUがモーターの位相を誤認識し、起動後に発進不能となる場合がある。また、この状態で一定以上アクセルペダルを踏み込むと、車両が急に動き出すおそれがある。  ②発電機(ジェネレータ)及び原動機(駆動用フロントモータ)のエアリーク検査システムにプログラムミスがあり、検査判定不良品が市場に流出した。そのため、オイル漏れが発生し、発電機(ジェネレータ)内のベアリングが潤滑不良となり破損し、最悪の場合、フェールセーフ状態(発電不可となり出力制限し、最高速度を50km/hに制限する走行状態)となり、再始動不可となる場合がある。  ③発電機(ジェネレータ)及び原動機(駆動用フロントモータ)のエアリーク検査システムにプログラムミスがあり、検査判定不良品が市場に流出した。そのため、オイル漏れが発生し、原動機(駆動用フロントモータ)内のベアリングが潤滑不良となり破損し、最悪の場合、フェールセーフ状態(発電不可となり出力制限し、最高速度を50km/hに制限する走行状態)となり、再始動不可となる場合がある。		
改善措置の内容	①全車両、FPDU 及び RMCU のプログラムを対策品に書き換える。 ②全車両、発電機(ジェネレータ)を良品に交換する。 ③全車両、原動機(駆動用フロントモータ)を良品に交換する。		
不具合件数	①3件、②0件、③0件	事故の有無	なし
発見の動機	社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、運転者席側ドアの開口部のドアストライカー付近に No. 3149 のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	DLA-GG2W	アウトランダー PHEV	GG2W-0000101~GG2W-0003956 平成 25 年 1 月 17 日~平成 25 年 3 月 13 日	3, 839 台	①3, 839台 ②14台 ③4台
	(計 1 型式)	(計 1 車種)	GG2W-0000101~GG2W-0003956 平成 25 年 1 月 17 日~平成 25 年 3 月 13 日	(計 3, 839 台)	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。